

あらゆる学問を統合しようとした書。『学問の転換』。

1994年11月3日 民衆図書刊行会発行。山田 学著。

四六判208頁ハードカバー・三一書房企画出版室製作

副題は 未来の世界を日本から。

1975年東大理科 類入学後、東大工学部在学中から近代科学に疑問を感じていた山田学は、**哲学史・数学史・物理学史・技術史**などを研究し続けた。どこまで正しく、どこから誤っているのか、と。そして1986年1月に近代科学の**根本的な限界**を悟り、これはもはや社会問題にならざるをえない、と恐怖した山田は、社会科学を真剣に研究し始めた。そして1992年夏に山田学は父・山田^{としお}俊郎から「TQ技術」の話をはじめて本格的に聞いた。これは**近代科学の大盲点**についている生命技術であるかもしれないと直観した学は、1993年8月～1995年1月のあいだ一切の職に就かず、わずかな貯金を頼りに、1988年に書きためていた原稿を本格的に高め自費出版した。神奈川県に在庫数百部あり。

できる限りわかりやすい日本語で書いているが内容は**最高級**。

学問への深い志があるお客さまのみがまともに読解できる。

読解できても読解できなくても**入手したい**お客さまは請求文書をお送りください。

請求文書を通し、お贈りしたいと山田学が想ったお客さまのみへお贈りします。

JOMON あかのみいを**支援したい**と思うお客さまは寄付金をお願いいたします。

以上、中味の欄・「入手説明」参照